

経済
コラム

研究者の眼

【番外】

いま、調査に求められるもの(上)

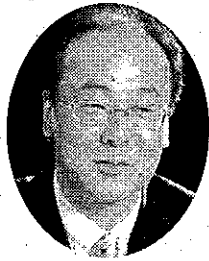
世論調査は、大きな危機に直面している。世論調査のみならず、社会調査、市場調査、果ては国勢調査に至るまで、調査と名が付く代物は実施環境の悪化が基たしく、回収率の低落にあえいでいる。

世論調査の精度低下は、政策情報の質的劣化に直結する。いま、学者・研究者の存在意義が問われている。

世論調査の精度低下は、政策情報の質的劣化に直結する。いま、学者・研究者の存在意義が問われている。

世論調査の精度低下は、政策情報の質的劣化に直結する。いま、学者・研究者の存在意義が問われている。

世論調査の精度低下は、政策情報の質的劣化に直結する。いま、学者・研究者の存在意義が問われている。



匿名性の高い現在の社会においては、人々の態度や意識を把握することは非常に難しい。それゆえにこそ、何らかの証

埼玉経済

大きな期待と低い協力

松本 正生 埼玉大学社会調査研究センター長・経済学部教授

抱えしには、喫緊の社会的課題の解決へ向けてどのような政策や対策を講ずるべきか、そもそも議論自体が成立しない。

「(人気投票的な)ポールのpoll」と区分している。

社会調査や世論調査とは、自前の調査センター機能を保持した大学や研究機関が、地域社会や報道機関の要請に応じて実施するのが本来の姿であるように思っている。

また、埼玉県をはじめとする地域の自治体から調査の委託を受け、結果の解析に基づく政策提言(「政策と調査」)を行なうなど、ささやかながらも独自の社会的貢献を展開している。

抱えしには、喫緊の社会的課題の解決へ向けてどのような政策や対策を講ずるべきか、そもそも議論自体が成立しない。

「(人気投票的な)ポールのpoll」と区分している。

社会調査や世論調査とは、自前の調査センター機能を保持した大学や研究機関が、地域社会や報道機関の要請に応じて実施するのが本来の姿であるように思っている。

また、埼玉県をはじめとする地域の自治体から調査の委託を受け、結果の解析に基づく政策提言(「政策と調査」)を行なうなど、ささやかながらも独自の社会的貢献を展開している。

抱えしには、喫緊の社会的課題の解決へ向けてどのような政策や対策を講ずるべきか、そもそも議論自体が成立しない。

「(人気投票的な)ポールのpoll」と区分している。

社会調査や世論調査とは、自前の調査センター機能を保持した大学や研究機関が、地域社会や報道機関の要請に応じて実施するのが本来の姿であるように思っている。

また、埼玉県をはじめとする地域の自治体から調査の委託を受け、結果の解析に基づく政策提言(「政策と調査」)を行なうなど、ささやかながらも独自の社会的貢献を展開している。

抱えしには、喫緊の社会的課題の解決へ向けてどのような政策や対策を講ずるべきか、そもそも議論自体が成立しない。

「(人気投票的な)ポールのpoll」と区分している。

社会調査や世論調査とは、自前の調査センター機能を保持した大学や研究機関が、地域社会や報道機関の要請に応じて実施するのが本来の姿であるように思っている。

また、埼玉県をはじめとする地域の自治体から調査の委託を受け、結果の解析に基づく政策提言(「政策と調査」)を行なうなど、ささやかながらも独自の社会的貢献を展開している。

企業、団体商店街などの話題や情報をお寄せ下さい
TEL 048・795・9161 FAX 048・653・9040